TOKAI UNIVERSITY　　UND UNIVERSITY OF NORTH DAKOTA

グランドフォークスだより

第026号　2007 年 12 月 3 日（月）～ 2007 年 12 月 7 日（金）

１　１－１の学生は事業用操縦士の科目であるシャンデル、レージーエイトを実施していますが、これらの科目を行う際には必ず機首、正横及び 180 度方向に目標（関東エリアではよく筑波山を使っていました。）を取って実施するものですが、グランドフォークスのように３６０度が地平線のような場合にどのように訓練を実施するのか興味がありましたが、ここグランドフォークス周辺の地形は、大きな碁盤の目のようになっていますので、全く気にせずに実施でき、しかも楽だということがわかりました。

２　１－２で１名 Solo flight が終わっていませんが、数日前から Solo を実施する場合の外気温（-23℃）を満足しない日が多くまだ終了できません。

　また、１－１でも Spin recovery の体験時期ですが、使用機体の Decathlon の飛行制限が-14℃以上となっているため、これも暖かい日の昼時を狙って実施しなければなりません。

訓練状況

今週は周期的に低気圧が通過し、気温が低いうえ降雪による低雲、低視程のため Flight できる日が少ない状況でした。

１－１：① Arrow による FAA 単発事業用操縦士課程の半ばまで終了しており、この課程を年末までに修了すべく努力しております。

② 12月7日、UND 内の整備関連施設を見学しました。

１－２：　このところの悪天候と初めての Stage　Check 待ちの為、しばらく足踏み状態が続いております。

　週間天気予報は気温、天候とも回復傾向ですので、クリスマスまでに訓練が進むことを願っております。

　UND　施設内はどこもクリスマスの飾り付けを行っており、気分を盛り上げております。

BY　　大西（GFK）